

今日は高宮八幡宮！

毎月、筑豊の素敵な神様紹介します

神社ウェブ
新聞創刊



高宮八幡宮
くぬぎちゃん



高宮の神様
だって！



神社の歴史 History

1289年前（霊長715年）に創建された高宮八幡宮は全国八幡宮の総本宮・宇佐神宮より、日本で初めて勧請（宇佐八幡宮の分霊を伊岐須の場所に移したこと）されたと伝えられる由緒深い八幡宮です。

高宮八幡宮にはご家族をはじめ様々な祈願者が訪れています。また、中でもご祭神の一つである応神天皇（勝利の神様）や中哀天皇（武道の神様）が古くから慕われていました。

当時の武士や地元の民衆が一番身近に感じたとされる応神天皇は勝利の神様であり、非常に身近な存在として地元住民から今でもあつい信仰を集めています。

2015年には高宮八幡宮御鎮座1300年の節目を迎えるにあたり、地元の企業と住民からの協力をいただきながら神社の手水舎の新築工事に加え、末社の改修工事・調度品の新調・社務所（授与所）の増築工事が行を行う予定です。



高宮八幡宮誕生 the beginning

高宮八幡宮は「社伝第二」によると、当時の伊岐須は戸数二・三〇戸あまりの小さな村でした。

その当時、高岐五十枝さんという人が伊岐須の土地の繁栄と人々が無事に生まれ生活することへの感謝をし、深く八幡大神様を信仰し続け、長い間に渡り約120キロという長く険しい道のりを大分県宇佐の地まで出向いて熱心に参拝を続けていました。

そして、ようやく満願（祈願・その日数が満ちる事）の時を迎えた時、その熱意と根気を八幡大神様が称え、宇佐神宮からその分霊を分けて頂いたと残されています。

当時から伊岐須村一帯を程よく見渡せる小高い山に、神様を祭るようにしてその地域に住む住民をいつも暖かく見守って下さるようと強く願う高岐五十枝の名字「高岐」を取って高岐の宮八幡宮が誕生し、今では参拝者と地域の住民達が高宮八幡宮と呼ぶようになりました。

宮司さんからひとこと♪



神社の杜（もり）の中にたえずと清々しいのはなぜしょう？

それは何百年も生き続けている樹木たちが共生しながら浄らか（きよらか）な呼吸をしているからなのです。

誰よりも神社の歴史を知っている樹木たちに話しかけてみませんか？

高宮八幡宮 青柳宮司

神社のあれこれ教えます！

名前の由来は？

地域の地名に由来します。

宇佐神宮から勧請された時、高宮八幡宮の櫛（くぬぎ）の木に霊鳥が空から舞い降りてきて「アナウレシニヤ、イキヲス」または「アナニエシ、イザナイキス」と鳴いたことから壱岐須・伊支須・五十洲とも書きその高宮神社の小高い森から見渡せる地域一帯を伊岐須村と呼ぶようになりました。

教えて御祭神

- 応神天皇（おうじんてんのう）＝ 勝利の神
- 神功皇后（じんぐうこうごう）＝ 子安、安産の神
- 比売大神（ひめおおかみ）＝ 三女神
- 仲哀天皇（ちゅうあいてんのう）＝ 武道の神
- 須佐之男命（すさのおのみこと）＝ 元氣、勇気、決断の神

どこにあるの？

住 所 / 〒820-0053 飯塚市伊岐須885
T E L / 0948 - 22 - 3491
F A X / 0948 - 22 - 3538